

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年2月22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	171100381
法人名	ちば設備工業株式会社
事業所名	グループホーム・ふ・れ・や・か・ちとせ館
所在地	千歳市桂木3丁目1-2 (電話) (0123)22-6671

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成 20年 2月 13日

## 【情報提供票より】(平成20年 1月 3日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 7人, 非常勤 12人, 常勤換算	4.2 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 2 階 建 造 り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	17,760(暖房 5,820)円
敷 金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有(無)
食材料費	朝食	367 円	昼食 367 円
	夕食	367 円	おやつ 52 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 2月 13日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	2 名		
年齢	平均 80.9 歳	最低	72 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人資生会 千歳病院 ・ パークあおき歯科
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

千歳市郊外の住宅地に立地し、近くには千歳川があり、白鳥の飛来や、春には桜を楽しめる等、自然に恵まれた環境にあります。共有空間はゆったりとしており、広い窓から、周りの景色がながめられ、回廊式の廊下や居間や玄関口にはソファや椅子がおかれ、くつろげるスペースが確保されています。職員は、理念に掲げられているように、利用者の笑顔がみられるよう利用者の尊厳を大切に、その人にあった支援を実践しています。地域との交流も始まり、行事に参加したり、協力してもらった関係が構築されてきています。前回評価での改善点も、職員全体で取り組み、速やかに改善されています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題のうち、緊急時の手当てに関しては、救急救命の講習会が計画されています。研修機会を増やす工夫は、継続的に受けられるよう、勤務の調整や職員の協力により努力されています。また、地域との交流関係については、町内会への加入による積極的な声かけ等により、成果が表れていることが確認できました。その他の課題についても、細部にわたって見直され、改善に向けた具体案の検討や実践が行われています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義を理解して、全職員一人ひとりが自己評価を作成し、管理者がまとめ、ミーティングで話し合われています。自己評価を通して、ケアの振り返りの機会とし、これからのケアの質の向上に活かそうとしています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、二ヶ月に一回、利用者ご家族や地域住民の代表、地域包括支援センターの職員なども参加して開催されており、利用者へのサービス状況の報告や利用者の生の声を伝えることによって、地域住民との協力関係が構築され、雪かきや行事の手伝いをして下さるようになってきています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者への日々の声かけ、利用者家族への来訪時での積極的な声かけにより、気軽に意見、要望が言えるよう配慮がなされています。また、ホーム内に設置された意見箱への投書や家族会での意見、要望があれば、速やかに対応がなされています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の行事に参加したり、ホームの行事に地域のかたをお招きし、交流をはかっています。また、運営推進会議を通して、地域の方々のホーム行事等への協力関係が得られるようになってきていますが、災害時の協力体制は、まだ得られていません。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「皆さんの笑顔それが私たちの喜びです。おだやかなぬくもりの中で喜びに満ちた日々を皆さんと共に歩みます。」というホーム独自の理念を掲げ、実践されています。また、地域との連携も積極的に行われていますが、地域密着型としての理念の再検討は現在までのところ、行われていません。	○	地域密着型として地域との交流も行われてきているが、理念の中に、それを盛り込まれることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設の理念・方針を全職員がミーティングなどで話し合い、理念の意識づけや共有がなされ、日々のケアに活かされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の行事に参加したり、ホーム行事に地域の方をお招きして、交流を図っています。また、運営推進会議を通して、行事や雪かきなどの協力関係が構築されてきています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義を理解して、全職員一人ひとりが自己評価を作成し、管理者がまとめ、ミーティングで話し合われています。前回の改善課題のうち、緊急時の手当てに関しては、救急救命の講習会が計画されています。研修機会を増やす工夫は、継続的に受けられるよう、勤務の調整や職員の協力により支援されています。また、地域との交流関係については、町内会への加入による積極的な声かけ等により、協力関係が構築されてきています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、二ヶ月に一回、利用者ご家族や地域住民の代表、地域包括支援センターの職員なども参加して開催されており、利用者へのサービス状況の報告や利用者の生の声を伝えることによって、地域住民との協力関係が構築され、地域密着型ホームとしての活躍が大きく期待されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター等から案内のある研修や会議に積極的に参加されています。また、運営推進会議には、市や地域包括支援センターの職員にも参加してもらいなどし、協力も得ることで気軽に相談ができるような関係が構築されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の状況は、ご家族の来訪時に報告がなされています。また、金銭管理や職員の異動についても、合わせて確認・報告がなされています。定期的に来訪されるご家族の外は、手紙や、必要に応じて、電話での報告がなされています。開設年は「便り」の発行が毎月行われていましたが、本年度は不定期に数回しか発行されておらず、今後の課題とされています。	○	定期的な「便り」の発行が、実現されますよう期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者への日々の声かけ、利用者家族への来訪時での積極的な声かけにより、気軽に意見、要望が言えるよう配慮がなされています。また、意見箱の設置や家族会の開催などで、意見、要望があれば、速やかに対応がなされています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職は、利用者へのダメージが大きいことを十分に話し合い、職員の協力や引継ぎの徹底がなされています。ユニット間で、利用者や職員の交流、協力が日常的に行われているため、現在までのところ、異動等があっても、特に影響なく、日々を過ごされています。利用者・ご家族へは都度報告し、運営推進会議においても、異動等の報告がなされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修については、年間計画はないものの、都度の案内による内外の研修は受講されており、ミーティング時には研修の報告がなされています。また、資格取得のためにはシフトの調整により、支援がなされています。	○	全職員の研修の機会を確保するために、職員と話し合いながら年間計画をたてられるよう期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部での研修や会議で、他グループホームとの情報交換がなされています。また、今後において、他グループホームとの往来による交流が計画されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人やご家族がグループホームを見学してもらうことにより、環境が変わることへの配慮がなされています。いきなりのサービス開始が及ぼす影響を職員が理解し、利用者が安心して過ごせるよう努力されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に理念を念頭に、日々一緒に過ごす中で学び、支えあうことを実践されています。畑作り、料理、裁縫、歌など、利用者が得意分野での力を発揮出来るようなセッティングや声かけの工夫がなされています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の利用者との関わりの中で、利用者本人の思いや希望、意向を聴くことが出来るよう、話しやすい場所や状況が考えられています。	○	利用者の希望・意向の把握のため一つの方法として、センター方式の取り入れを検討されることを期待します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回行われるケアカンファレンスにおいて、週毎に記載されたモニタリングやケアプランチェック表を元に、利用者・ご家族の要望も取り入れつつ、検討見直しをなされ、介護計画が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者・ご家族の希望を取り入れつつ、定期的見直しや状態変化に合わせて都度検討見直しをなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・ご家族の希望や状況に応じて、通院、外出、美容院等、出来る限りの柔軟な対応に心掛けて支援がなされています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のかかりつけ医との連携を大切に、利用者が安心して受診できるよう、支援がなされています。受診時にご家族が同行の場合も多いが、同行されない場合の受診後の状況報告はすぐに行うなど、ご家族との情報の共有に努力がなされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の意思を尊重した、ご家族との話し合いが行われています。利用者のご家族の意向の相違がある場合は、利用者の思いをご家族に伝えるなどし、双方の安心と納得が得られるように支援がなされています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員採用時及び退職時に個人情報の取り扱いに関する指導がなされています。また、利用者個々の性格、個性を十分に把握し、誇りやプライバシーを損ねることのないよう、ケアの統一が図られています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースに合わせた柔軟な対応がなされています。急な希望には対応出来ない時もありますが、出来る限り早期に実現できるよう利用者に説明し、納得してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の中で個々の希望や好みを聞き取り、可能な限りメニューに取り入れる努力がなされているとともに、利用者は積極的にメニュー作り、料理や後片付けに参加されています。また、利用者と職員が同じテーブルを囲み、楽しみながら食事が出来るよう雰囲気作りがなされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回が原則ですが、利用者のその日の状況や本人の希望を確認し、入浴支援がなされています。また、柚子湯、薬草湯など香りを楽しむことが出来るよう工夫がなされています。一方で、設備の関係上、使用湯量に制限があり、1日に2、3人までしか入浴できませんが、利用者と相談しながら対応されています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野で、負担なく個々の力を発揮できるような場面を作り、感謝の言葉を伝えていきます。貼り絵や塗り絵など、楽しみごとの完成作品を、ホーム内に展示していません。回廊式の廊下は、利用者の積極的な歩行練習や、冬場の屋外散歩の代わりとして利用されています。	○	ボランティアの申込はありますが、受入れの状況は準備中となっています。是非実現され、楽しみごとの一つとなることを強く期待します。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の気分や希望に応じて、散歩や買物、外出の支援がなされています。支笏湖、お墓参り、大型スーパーへの買い物等、ご家族に協力を得ながら外出しています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠はされていません。運営推進会議などで、地域の方への理解を求め、見守り、声かけや連絡してもらえる関係を築く努力がなされています。利用者が自由な暮らしができるよう支援がなされています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回、避難訓練が実施されています。玄関には、非常時に備え、衣服や外とうの準備がなされています。	○	非常災害時に地域の方々の協力を得られるよう、運営推進会議の中でお願い、呼びかけが行われることを期待します。また、現在計画中の全職員への救急救命講習が実現されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の水分摂取量や食事量の確認、個々の状態に合わせた食事形態、自助具の支援がなされています。栄養価についても、定期的なチェックを栄養士にお願いし、実践されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一つ一つの窓が大きく、日差しが十分に取り入れられ、明るく、暖かく居心地よい共用空間となっています。回廊式の廊下も巾が広く、各所に一人掛けや数人掛けの椅子もあり、ホーム内でその時々のお気持ちに合わせ、過ごすことが出来るように配慮されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、利用者個々の使い慣れた家具や飾りものが自由に持込まれ、自分らしく配置されています。		